

平成28年度 事業報告

1、事業概要

当シルバー人材センターは、市民の皆さんの信頼を得ながら、社会的使命を果たし自己責任による透明性の高く開かれた公益社団法人として積極的に事業を運営してまいりました。

しかし、平成28年度においても引き続き地方を取り巻く厳しい経済、社会環境の中、健康で働く意欲のある高齢者の受け皿として「新規会員の入会・就業機会の拡大」に役職員一丸で取り組みましたが、年々会員の高齢化が進む一方、社会保障制度の見直しによる定年制の延長、再雇用制度の導入や年金支給開始時期の引き上げ等から、労働市場を引退した団塊の世代も含め、経済的な理由で高収入を求める傾向が強く会員数は依然として低迷し、その影響から就業機会の拡大には至らず、課題の多い年となりました。

こうした状況下にあって、センターの受注金額では、前年度と比較して公共事業においては、若干上回っておりますが企業や一般・家庭においては、主に水産加工場の慢性的な原料不足や草刈り、草取り、農作業が最盛期での長雨の影響で稼働日数が大幅な減少となり受注金額が下回り事業全体では、8,329千円の減収となりました。

一方、平成27年度から本格的に取り組みを始めた派遣事業では、派遣先6事業所、派遣労働会員20名、派遣契約金額6,924千円となり昨年度を上回る実績となりました。

また、今年度も会員の皆さんが就業を通じて地域社会に貢献できたことは、一般市民を始め企業・団体・行政等のご支援ご協力

の賜と感謝申し上げますとともに会員の真摯な仕事ぶりが市民に周知、評価されてきたものと思います。ここにご支援、ご協力を頂きました市民・企業・団体そして紋別市をはじめとする行政当局並びに会員の皆さんにも厚く感謝お礼を申し上げます。

※ 平成28年度事業実績の概要

○ 登録会員数	162名
○ 受注件数	2,566名
○ 就業実人員	132人
○ 就業延日人員数	18,269人
○ 就業率	81.5%
○ 受注金額	93,036,958円

2、事業実施状況

(1) 就業体制の強化

会員の希望と技能・経験を把握し、センターの理念をもとに公正適正な就業体制の確立と動きやすい環境を推進しながら、多様化するニーズに対応する体制づくりに努めたところであります。

(2) 受注体制の強化

ア、市民、企業、団体、行政にセンターの事業に係る情報を積極的に提供するとともに、会員と役職員による就業開発活動等を通して、受注の拡大に努めたところであります。

イ、今後加入が見込まれる団塊の世代が希望する管理系・事務系職種の開拓に向け事務局体制の強化を図りました。

(3) 技能講習会の実施

会員を対象とした刈払機安全衛生教育講習会、交通安全講習会、冬囲い講習会を実施したところであります。

(4) 安全就業対策の強化

就業中、就業途上の事故防止を図るため、安全就業基準の徹底と会員の健康管理の保持に努め、現場確認や安全委員会による現場パトロール等の実施と安全講習会を実施したところであります。また、毎月「安全就業だより」を発行し会員の安全への意識高揚に努めました。

(5) 会員の入会促進

経験、知識、能力を生かし健康で働く意欲のある会員の入会促進を図るため、8月、3月の2回市民会館及びセンター会議室で入会説明会を開催したほか、定期的に新聞広告等によるPRを実施しました。

(6) 関係機関との連携

センター事業の目的達成のため、全シ協、道シ連、紋別市等との連携を密にして、理解と協力・支援を得ながら円滑な事業運営に努めました。

(7) 広報活動の強化

会員相互の情報と交流を深め連帯感を高めるため「会員だより」と広報誌「シルバー人材センターだより」を発行（地域班世話人による配布）したほか、広報活動とセンター事業の普及啓発のため市民向けの啓発用チラシの配布・新聞折り込みを行いました。

また、10月の第3土曜日の「シルバーの日」に役職員が市

内の大型店において、リーフレット・ティッシュ等を配布しセンター事業の普及キャンペーンを行いました。

(8) シルバー派遣事業の取組みについて

多様な就業機会の確保のため、役職員が一丸となり派遣事業の拡大に向け、新規の就労開拓に努めました。

(9) 社会奉仕作業

紋別市が主管して取組んでいる「美しいまちもんべつ美化サポート」事業に協賛して地域班単位で年2回公共施設の清掃作業を行いました。

(10) 事務局体制の強化

事務局職員が各種講習会、研修会に出席し事務処理等に必要な知識、技能の研鑽習得に努めました。